

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 理科 科目 化学

教科: 理科 科目: 化学 単位数: 3 単位

対象学年組: 第 2 学年 A 組 ~ G 組

教科担当者: (2ABC Sa: 小川) (2ABC Sb: 小川) (2EFG Sa: 小川) (2EFG Sb: 小川)

使用教科書: (啓林館化学基礎i版、第一学習社高等学校化学)

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】 理科について知識を身につけ、理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 理科について考え表現できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 理科について学びに向かう力をつける。

科目 化学 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学的な現象を化学の本質である粒子的な視点から理解する。	ある現象や反応を粒子的な視点から考察し、それを簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。	化学が日常のどこに見られる現象であるのかを積極的に見出し、知的好奇心をもって粘り強く考えて、判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	<化学基礎 酸化還元反応> 【知識及び技能】 酸化還元反応について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 実験の考察、化学反応式、計算を適切に行えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験や問題演習に積極的に取り組む。	・指導項目 酸化還元反応 ・教材 教科書、ワーク ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 物質の性質について粒子的な視点をもって理解し、基本的な実験操作や器具の扱いを習得する。 【思考・判断・表現】 酸化還元反応の性質から実験方法を判断し、立案、考察する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の性質や状態が日常のどこに見られる現象であるのかを積極的に見出し、知的好奇心をもって粘り強く考えて、判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	<化学 物質の状態> 【知識及び技能】 物質の状態について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 実験の考察、化学反応式、計算を適切に行えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験や問題演習に積極的に取り組む。	・指導項目 状態変化 気体の性質 溶液の性質 個体の性質 ・教材 教科書、ワーク ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 物質の性質について粒子的な視点をもって理解し、基本的な実験操作や器具の扱いを習得する。 【思考・判断・表現】 状態変化の性質から実験方法を判断し、立案、考察する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の性質や状態が日常のどこに見られる現象であるのかを積極的に見出し、知的好奇心をもって粘り強く考えて、判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
2 学 期	<化学 物質の変化と平衡> 【知識及び技能】 化学変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 実験の考察、化学反応式、計算を適切に行えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験や問題演習に積極的に取り組む。	・指導項目 溶液の性質 化学反応と熱 ・教材 教科書、ワーク ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 物質の性質について粒子的な視点をもって理解し、基本的な実験操作や器具の扱いを習得する。 【思考・判断・表現】 化学変化の性質から実験方法を判断し、立案、考察する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の性質や状態が日常のどこに見られる現象であるのかを積極的に見出し、知的好奇心をもって粘り強く考えて、判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	<化学 物質の変化と平衡> 【知識及び技能】 化学変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 実験の考察、化学反応式、計算を適切に行えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験や問題演習に積極的に取り組む。	・指導項目 化学反応と熱 化学反応の速さ ・教材 教科書、ワーク ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 物質の性質について粒子的な視点をもって理解し、基本的な実験操作や器具の扱いを習得する。 【思考・判断・表現】 化学変化の性質から実験方法を判断し、立案、考察する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の性質や状態が日常のどこに見られる現象であるのかを積極的に見出し、知的好奇心をもって粘り強く考えて、判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<化学 物質の変化と平衡> 【知識及び技能】 化学変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 実験の考察、化学反応式、計算を適切に行えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験や問題演習に積極的に取り組む。	・指導項目 化学平衡 電離平衡 ・教材 教科書、ワーク ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 物質の性質について粒子的な視点をもって理解し、基本的な実験操作や器具の扱いを習得する。 【思考・判断・表現】 化学変化の性質から実験方法を判断し、立案、考察する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の性質や状態が日常のどこに見られる現象であるのかを積極的に見出し、知的好奇心をもって粘り強く考えて、判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。	○	○	○	8
	学年末考査						1
							105